




## JPRSサーバー証明書の3つのポイント

ポイント 1	ポイント 2	ポイント 3
 「.jp」を登録管理するJPRSが発行する安心と信頼の証明書	 お手頃価格と高い信頼性を両立	 1枚の証明書で複数のサーバーに導入可能
<p>「.jp」の登録管理を行う唯一の組織、JPRSが提供するサーバー証明書です。「.jp」は140万件以上の登録実績があり、JPRSは設立以来15年以上、無事故・無停止で運用されています。安心と信頼の品質をサーバー証明書でも実現します。</p> <p>※JPRSサーバー証明書は「.jp」以外のドメイン名にもご利用いただけます。</p>	<p>JPRSサーバー証明書はリーズナブルな提供価格と、「.jp」のサービスで培った経験から高い信頼性を両立しています。コストと信頼性の両方を重視したいというお客さまにオススメです。</p>	<p>コモンネーム単位でサーバー証明書が発行されるため、同一のコモンネームを持つサーバーであれば台数に関係なく、一つの証明書をコピーして利用することができます。サーバーを増設する場合にも追加購入の必要がありません。</p>




## JPRSサーバー証明書の種類

組織認証型(OV)とドメイン認証型(DV)の2種類に、それぞれのワイルドカード証明書<sup>※1</sup>を加えた計4種類を提供しております。<sup>※2</sup>




	組織認証型(OV)	組織認証型(OV) ワイルドカード証明書	ドメイン認証型(DV)	ドメイン認証型(DV) ワイルドカード証明書
特長	・組織の法的実在性を認証	・組織の法的実在性を認証 ・1枚で複数のサブドメインに対応	・即日発行	・即日発行 ・1枚で複数のサブドメインに対応
発行までの所用時間(目安)	1～2日(最短で即日発行)		最短で即時発行	
運営者・運営組織の実在証明	○		—	
マルチドメイン機能	○ (ダブルアドレスオプション ※3)	—	○ (ダブルアドレスオプション ※3)	—
署名/アルゴリズム	sha256WithRSAEncryption			
有効期間	1年～3年			
複数サーバーでのご利用	○			
申請者の制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本国内の組織及び個人事業主であること</li> <li>・発行するサーバー証明書のドメイン名の登録者と同一である、あるいは、登録者の許諾を受けた者であること</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・発行するサーバー証明書のドメイン名の登録者と同一である、あるいは、登録者の許諾を受けた者であること</li> </ul>	

※1 ドメイン名の左端のラベルを「(アスタリスク)」とした証明書で、1枚のサーバー証明書で複数のサブドメインに対応できるオプションです。 ※2 提供する証明書の種類や提供内容は、取り扱い事業者により異なる場合があります。 ※3 ドメイン名に「www.」が含まれている・いないにかかわらず、同一の証明書を利用することができるオプションです。

組織認証型(OV)	ドメイン認証型(DV)	ワイルドカード
 暗号化 : ○ *** 認証項目:ドメイン名+組織の実在性	 暗号化 : ○ * 認証項目:ドメイン名のみ	
<p>証明書の申請者が、証明書に記載のドメイン名について、登録者または管理者であることに加え、Webサイトの運営者・運営組織の法的実在性を認証した証明書。</p> <p>企業だけが登録できるドメイン「CO.JP」と組み合わせると、実在性・信頼性をさらにアピールできます。</p>	<p>証明書の申請者が、証明書に記載のドメイン名について、登録者または管理者であることを証明する証明書。</p>	<p>ワイルドカード証明書は、一つの証明書で同一のドメイン名の配下にあるすべてのサブドメインすべてに証明書を設定することができるためコスト削減に繋がります。コモンネームの先頭ラベルを「*」(ワイルドカード)とすることで、そのドメイン名のサブドメインすべてに証明書を設定します。</p>

## JPRSサーバー証明書のポイント

### サイトシール



**ご利用無料のサイトシール 信頼できるWebサイトの証**

サイトシールは、サーバー証明書による認証を受けた信頼性の高いWebサイトの証。特に、電子商取引（EC）や、個人情報の入力などを必要とするWebサイトに掲載することで訪問者へ信頼性をアピールできます。JPRSサーバー証明書を導入しているお客さまがご利用いただけます。サイトシールをクリックすると表示されるサーバー証明書の詳細情報は、日本語と英語の2言語に対応しています。

### スマートフォン対応



**iPhoneやAndroidといったスマートフォンにも対応**

JPRSのサーバー証明書は、iPhoneやAndroidなどのスマートフォンにも対応しています。

## サーバー証明書とは

Webサイト所有者の情報・送信情報の暗号化に必要な鍵・証明書発行者の署名データ（ネット上の実印のようなもの）を持った電子証明書。サーバー証明書をWebサーバーに設定することで、安全で機密性の高い通信を実現します。

### サーバー証明書の役割と目的



SSL/TLSを利用するには、サーバーにサーバー証明書を導入します。

サーバー証明書は信頼の置ける第三者機関＝認証局が発行する電子的な証明書で、二つの機能を持っています。

#### ① 通信データの暗号化

SSL/TLS\*という技術を用いて、パソコンやスマートフォンといった端末と、サーバー間のデータのやりとりを暗号化します。これにより、第三者によるデータの盗聴を防ぎ、データを安全に送受信できます。

※SSL(Secure Sockets Layer)/TLS(Transport Layer Security):暗号技術を用いて、二者間における安全な通信を実現するためのプロトコル。

#### ② Webサイト所有者の確認

Webサイトの運営者が証明書に表示されているドメイン名(サーバー)の所有者であることを証明できます。これにより、サイト訪問者は「情報の送信先」を確認し、重要な情報を安心して送ることができます。また、通信途中でデータの欠落や改ざんがされていないこと(真正性)も証明します。

## ご利用の流れ



### 〈注意事項〉

【本リーフレットについて】◆記載の会社名・組織名や商品・サービス名は各社・各組織の商標または登録商標です。◆特に記された場合を除き、記載の内容は2016年8月時点のものです。◆記載の内容は予告なく変更される場合があります。

【JPRSサーバー証明書発行サービスについて】◆組織認証型(OV)のサーバー証明書は、日本国内に住所のある企業・組織・個人事業主がお申し込みいただけます。◆株式会社日本レジストリサービス(JPRS)は、証明書利用者からのお申し込み内容、提出いただいた書類等を当社の審査基準に基づき審査します。審査に際して必要があると認める場合、証明書利用者に対し、追加の書類の提出および情報の提供を求めることがあります。◆サービス提供範囲や内容は取り扱い事業者によって異なりますので、詳しくは各取り扱い事業者までお問合せください。

お申し込み・お問い合わせ先

**JPRS**  
JAPAN REGISTRY SERVICES

株式会社日本レジストリサービス